

What is claimed is:

An automatic electric wire marking cutter characterized by comprising:

a marker 2 concurrently affixing an electric wire number 1 to two locations with an arbitrary interval therebetween;

an electric wire feeding device 4 provided on an electric wire insertion side of the marker 2, and advancing an electric wire 3 by a predetermined dimension; and

an electric wire cutter 5 provided on an electric wire exit side of the marker 2.

公開実用 昭和60— 90720

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-90720

⑪ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)6月21日

H 01 B 13/00

7037-5E

B 41 F 17/10

C-6951-2C

19/08

C-6951-2C

B 41 K 3/00

6612-2C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 電線の自動マーキングカッター

⑮ 実 願 昭58-182511

⑯ 出 願 昭58(1983)11月25日

⑰ 考 案 者 奥 村 宏 信 松山市堀江町7番地 三浦工業株式会社内

⑱ 考 案 者 宇 賀 秀 樹 松山市堀江町7番地 三浦工業株式会社内

⑲ 考 案 者 渡 部 真 二 松山市堀江町7番地 三浦工業株式会社内

⑳ 出 願 人 三浦工業株式会社 松山市堀江町7番地

明 細 書

1. 考案の名称

電線の自動マーキングカッター

2. 実用新案登録請求の範囲

線番1を任意間隔位置に2箇所同時に押印する
マーカ-2と、前記マーカ-の電線挿入側に設け
られ電線3を所定寸法送る電線送り装置4と、前
記マーカ-の電線出口側に位置して設けられる電
線カッター5とからなることを特徴とする電線の
自動マーキングカッター。

3. 考案の詳細な説明

本考案はマーキングと所定寸法切断を連続で加
工できるようにした電線の自動マーキングカッタ
ーに関するものである。

従来、配線用の電線へのマーキングは、電線を
所定の寸法に切断し、その所定寸法の電線に線番
をマーキングする方法がとられていた。即ち、配
線用の電線を所定寸法に切断する装置と線番をマ
ーキングする装置とは単独であって、それぞれ別

工程で行われていたので、工数がかかっていた。

本考案はマーキングと所定寸法切断とを連続的に加工できるようにし工数を大幅に低減することを目的とするものであって、線番を任意間隔位置に2箇所同時に押印するマーカ―と、前記マーカ―の電線挿入側に設けられ電線を所定寸法送る電線送り装置と、前記マーカ―の電線出口側に位置して設けられる電線カッターとからなる電線の自動マーキングカッターである。

以下、本考案を図面に従って説明すると、図は本考案における動作説明図であって、(イ)は線番を所定間隔位置に2箇所同時にマーキングした場合、(ロ)は電線を切断位置にセットした場合を示す。図中の2は線番1を任意間隔位置に2箇所同時に押印できるように構成されたマーカ―である。4は電線3を所定位置に送る電線送り装置である。この電線送り装置は電線にマーキング後、2箇所のマーキング位置の中央がカッター位置になるように電線を l_1 の寸法だけ送り、次に電線が所定の寸法($l_1 + l_2$)となるように電線を

l_2 の寸法送るように構成されている。即ち、電線切断のための電線送り l_1 と、線番マーキングのための電線送り l_2 を交互に行うようになっている。5 は前記マーカー 2 の後方位置に設けられる電線カッターである。

次に作用について説明する。通常、同時に押印される 2 個所のマーキング間隔と、マーカーとカッター位置との間隔 l_1 とは一定に固定されている。まず、電線の自動マーキングカッター駆動前にマーキング記号と電線の所定寸法を得るための l_1 の設定を行い、ロール巻きの電線の一端を電線送り装置に通してマーカー内に挿入する。次に自動マーキングカッターを駆動せしめると、図中の (イ) のごとくマーカーの動きにより 2 個所同時にマーキングが行われ、次に電線送り装置により電線を l_2 寸法だけ送り前記 2 個所のマーキング位置の中央がカッターにて切断される。ついで、電線送り装置の動きにより電線を l_2 寸法送られる。以下、上記操作を繰返すことにより所要数のマーキング入り配線用電線が得られる。

本考案は以上のように構成されているので、電線へのマーキングと電線の切断が同時に自動的に行われるので、マーキング及び切断の工数を大幅に低減することができる。

4. 図面の簡単な説明

図は本考案における一実施例の動作説明図であって、(イ)は線番を所定間隔位置に2箇所同時にマーキングした場合、(ロ)は電線を切断位置にセットした場合を示す。

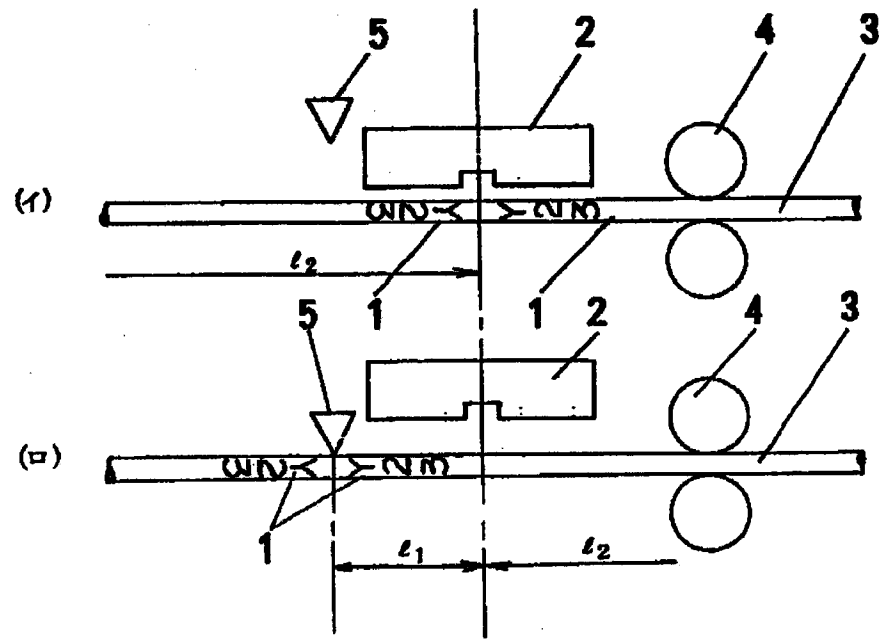
- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 線番 | 2. マーカー |
| 3. 電線 | 4. 電線送り装置 |
| 5. 電線カッター | |

実用新案登録出願人

三浦工業株式会社

代表者 三浦 保

圖 面



實用新案登録出願人 三浦工業株式会社

代表者 三浦 保